

# 地域資源エネルギーを有効活用した次世代型農業の展開

～平成25年度及び平成26年度 農林水産省次世代施設園芸加速化事業～  
地域の廃棄物から産まれるエネルギーを有効活用し、農作物を生産



# I C T等を活用した高付加価値農業

情報通信技術。information and communication technologyの略称

「経験と勘」に基づく農業から  
科学に基づく農業の実現

新規就農者の  
早期育成の実現



高品質な農作物を  
効率的、安定的に栽培

ビッグデータの  
活用

より高度な制御方法、  
栽培最適条件の実用

作物の品質に影響を及ぼす生育  
環境、生育状況等、多種多様な  
データを数分ごとに収集

## 当社の技術と従来技術との比較

栄養成分	当社のトマト	水耕栽培	土耕栽培
糖度 (g/100g)	11	4.0	4.0
グルタミン酸ナトリウム (mg/100g)	280	157	172
GABA (mg/100g)	100	28	28
リコピン (mg/100g)	8.8	3.0	4.3
ビタミンA (レチノール相当) (βカロチン) (μg/100g)	92	45	

栽培環境の見える化  
(どこでも確認可能に)

作業の効率化  
(作業進捗をデータ化し  
労務管理)

# 地域資源エネルギーを有効活用した次世代型農業の展開

## 園芸2品 販売額倍増

富山 次世代拠点で栽培



次世代拠点のトマト選果場。センサーで糖度をチェックし、基準を満たしたものをだけ出荷している。富山市婦中町吉谷

### トマト・切り花高値

2015年に富山市に完成した次世代施設園芸拠点で生産されているフルトマトと花が県内外で高く評価され、販売額を急速に伸ばしている。16年度は3億7000万円と初年度からほぼ倍増。高い品質と通年で出荷できる体制を強みに、トマトは市場平均の3倍以上、トルコキョウは国内最高の価格帯で取引されている。園芸作物の産出額で全国最下位が位置となっている富山県にとって、飛躍への明るい兆しになっている。(政治部・浜田泰輔)

次世代拠点は富山市婦中町吉谷の国道359号沿いに整備された。農業の成長産業化を目指す政府が支援する全国10のモデル地区の一つで、ハウス28棟の計4診で先進的な施設園芸に取り組んでいる。リサイクル・廃棄物処理の富山環境整備(松浦英樹社長)を中心に、県や富山市などでつくる協議会が運営する。廃棄物を処理する際に発生する熱と電気を有効活用し、年間を通じて作物の生育に適した環境をつくり出している点が最大の特長になっている。トマトの栽培には、養液だけを吸収し、余分な水分や雑菌は通さない特殊なフィルムに根をはわせる新しい農法を採用。必要最小限の水しか与えないことで、糖度と栄養価が高まり、病いので農薬の使われる。高い品質価格は1.5倍を大きく上回る57.1tを出荷し、3億2千万円、切り花として日照時間が必要

北日本新聞  
2017年(平成29年)  
5月6日  
土曜日

か花が咲かない。次世代拠点ではLED(発光ダイオード)で冬期に光を補い、年2回の開花を実現。苗を植える時期をずらすことで季節を問わず出荷できる体制を整えた。さらに従業員約20人で無駄な芽を摘み取る作業を徹底し、1本300円以上で取引される大輪の花が咲くようにしている。最先端の設備とマンパワーで高付加価値化に成功し、16年度は約26万本で4800万円を売り上げた。福作が中心の富山県は、園芸産出額で全国最下位が続いている。農林水産省の統計によると、15年度は83億円、46位の福井県の90億円とほぼ徳円の開きがある。

次世代拠点では、度や明るさ、二酸化炭素などのデータを常時その養液を栽培環境生かしている。収量、またまた向上する(富山環境整備業部)とい、園芸を引する役割に期待されている。

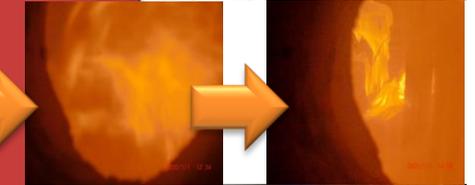
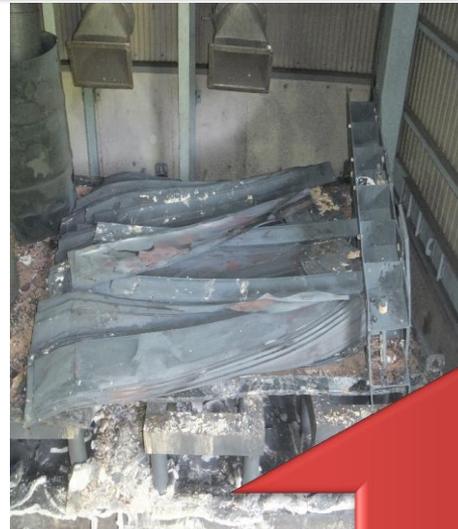
16年度県産野菜首都圏出荷額  
最高2億1600万円

県産野菜の2016年度の何部は過去最高の2億1600万円だった。次世代園芸拠点のフルトマトが1億5200万円と全体の11年度に1400万円だった。首都圏への出荷額は、園芸作物の生産拡大を目指す「1億円産地づくり」事業によって年々拡大。拠点が15年度に稼働し、首都圏を主要なターゲットと定めるとさらに上昇し、5

【TKSのトマト首都圏出荷額(16年度)】  
1億5200万円(約130t出荷)  
※県産野菜首都圏出荷額全体の約7割



# 低濃度 P C B 廃物の焼却処理



# 低濃度 P C B 廃棄物の処理実績

## 低濃度 P C B 廃棄物

- ・年間約 3, 0 0 0 t
- ・累計約 1 1, 0 0 0 t
- ・累計処理台数  
約 1 4, 0 0 0 台  
(トランス・コンデンサ等)



大型機器の処理実績  
200トﾝ

## トランス等の固定床炉での処理実績

2014-2016 処理能力の 40%



年末から年度末にかけて依頼が殺到

# 災害廃棄物（熊本地震）処理について



廃棄物仮置き場

## 混合廃棄物プラント



**【災害廃棄物の処理体制等】**

- ・熊本地震の災害廃棄物処理は、熊本空港近くの工業団地内に仮置き場を設置し、廃棄物を破碎・選別したのちリサイクルを中心とする処理先へ搬出し処分することとした。
- （H28.8～H30.1）
- ・処理主体は、熊本県内の廃棄物処理業者とTKSを含む、「**（一社）日本災害対応システムズ**」会員が運営・管理を行っている。



## 木くずプラント

コンクリートガラ	約10万t
廃瓦	約1万t
柱材・角材	約5万t
その他木くず	約2万t
可燃系・不燃系混合物	約16万t

**【熊本県災害廃棄物処理事業連合体（構成員12社）】**

- ・代表企業：有価物回収協業組合石坂グループ
- ・構成会社：オー・エス収集センター、九州産廃、星山商店、前田産業、**ダイナ環境ソリューション**、大栄環境、三重中央開発、**ICシステムジャパン**、仙台環境開発、富山環境整備、井本商運

## 【全国に分散した処理施設】

都道府県	施設名	職員 (t/日)	処理または 埋立 (t/日)	埋立 (千㎡)
宮城県	緑グリーンアローズ東北	331		
	仙台環境開発	84		3,211
	新津リサイクル	58		
秋田県	エコシステム秋田	227	497	
	エコシステム小坂		203	
	グリーンフィール小坂			2,700
	エコシステム花園			1,958
東北地方計	700	701	7,859	
埼玉県	緑ギプロ	200		
	寄居工場ゼロエミッション施設		450	
千葉県	エコシステム千葉	560	840	
	四街道リサイクルセンター	400		
	大木戸最終処分場			1,087
東京都	東京リサイクルセンター	4,483		
	メジャーヴィーナス・ジャパン	1,331		
	川崎リサイクルセンター	2,913		
神奈川県	緑池田商店	972		
	緑グリーンアローズ関東	144		
	横浜エコクリーン		200	
	金沢リサイクル工場	7		
	川崎エコクリーン		220	
関東地方計	10,990	1,710	1,087	
富山県	緑富山環境整備	144		4,503
石川県	北陸環境サービス	32		704
山梨県	緑タケエイグリーンリサイクル	222		121
長野県	緑信州タケエイ	1,403		
静岡県	緑タケエイメタル	546		
愛知県	グリーンアローズ中部	543		
中部地方計		2,746	144	5,328
東北・関東・中部地方合計		14,436	2,555	14,284
三重県	三重中央開発	1,227	1,378	6,166
	京都リサイクルセンター	938		1,285
	緑近畿環境開発	1,356		86
大阪府	緑エコプロ	5		
	緑フラテック	26		
	和泉リサイクルセンター	913	60	832
	GE	321	249	
	DINS堺	3,171	86	
兵庫県	泉州産業	880		
	クリーンステージ		95	
	R&E	103		
	グリーンアローズ関西	566		
和歌山県	六甲リサイクルセンター	426		
	西宮リサイクルセンター	265	50	
	三木リサイクルセンター	12,418	150	8,038
	尼崎リサイクルセンター	189		
和歌山県	緑神戸ポートリサイクル	445		
	粉河リサイクルセンター	234		
	御坊リサイクルセンター	337		1,375
関西地方計	23,800	2,067	17,782	
岡山県	エコシステム山陽	3	720	
	エコシステム岡山		260	
広島県	福山焼却炉		85	
中国地方計		3	980	0
愛媛県	フレップとうおん	2,880	240	1,184
四国地方計		2,880	240	1,184
福岡県	光和精錬		550	
九州地方計	グリーンアローズ九州	210		
		210	550	0
関西・中国・四国・九州地方合計		26,893	3,837	18,966

## 【構成会社 (12社)】

- ① 井本商運株式会社
- ② オオノ開撥株式会社
- ③ オリックス資源循環株式会社
- ④ 三光株式会社
- ⑤ JFE環境株式会社
- ⑥ 仙台環境開発株式会社
- ⑦ 大栄環境株式会社
- ⑧ 株式会社ダイセキ環境ソリューション
- ⑨ 株式会社タケエイ
- ⑩ DOWAエコシステム株式会社
- ⑪ 株式会社富山環境整備
- ⑫ 早来工営株式会社

### 1 処分能力

- ① 破砕 41,887 t/日
- ② 焼却 6,790 t/日
- ③ 埋立 37,370千㎡

### 2 運搬能力

海上輸送 29隻 海上輸送コンテナ 670基  
 鉄道コンテナ 385基 運搬車両台数 1,260台

## D.waste-Net

災害廃棄物処理支援ネットワーク登録



# 廃棄物処理業からリサイクル業へ

## リサイクル業(製造業)

原料(インプット)が有価物  
だったら、単なる加工業

アウトプットはプラス、つ  
まり有価物

50円

差額90円

0円

-40円

インプットはマイナス、  
つまり廃棄物

この静脈産業エリア！  
<廃棄物業→製造業→廃棄物業>

ここから、ここまでは明確に  
**廃棄物の処理業**

# 今後の事業展開等

## TKSは

環境・資源問題

① 安全・安心な**廃棄物処理**や**資源循環**

エネルギー問題

② 廃棄物発電など**創エネルギー**

食料問題

③ 次世代施設園芸などの**農業経営**

人口・経済・地域差問題

④ 雇用創出、地域活性化など**地域創造**

などに**真摯**に取り組み、**地域、家族から感謝**され必要とされる、**また、次の世代に誇れる企業**を目指す！

当社は今後とも、地域の活性化につながる  
資源効率の高い社会づくりに向け、がんばります。

ご清聴、ありがとうございました。



くらしたい国、富山